

動物実験に関する自己点検・評価報告書

飼養及び保管の状況
実験計画書の年間承認件数
教育訓練の実績

京都産業大学

平成 30 年 3 月
(報告対象：29 年度)

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 京都産業大学動物実験規程 ・ 京都産業大学動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 基本指針および飼養保管基準に則した期間内規程が適性に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 動物実験規程の改正、または細則や飼養保管マニュアルにより補完することで、実施方法等の更なる具体化を図る。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 京都産業大学動物実験委員会規程 ・ 動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 基本指針に則した動物実験委員会が適性に定められている。 ・ 動物実験委員には獣医師、保健管理センター医師を含み、安全管理に重点が置かれている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 基本方針に即した3つのカテゴリーの委員で構成されているため、そのことについて規程に明記するよう努める。

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験動物にかかる体制図 ・動物実験計画書 ・動物実験結果報告書 ・飼養保管施設設置承認申請書 ・実験室設置承認申請書 ・施設等廃止届 ・動物搬入申込書
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本指針に適合した、動物実験計画の立案、審議、承認、結果報告、飼養保管施設等の実施体制が整備されている。また、外部検証結果を踏まえ、計画書の書式の修正を行った。 ・これら手続きに必要な各種様式が定められている。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類、両生類を使用する実験においても、学内規程に定めている管理体制の整備を検討する。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都産業大学 R I 実験施設放射線障害予防規程 ・京都産業大学化学物質管理規程 ・京都産業大学生物災害等防止安全委員会規程 ・京都産業大学生物災害等防止安全管理規程 ・京都産業大学生物災害等防止安全審査会規程 ・京都産業大学組換え DNA 実験安全管理規程 ・京都産業大学組換え DNA 実験安全管理規程施行細則 ・京都産業大学組換え DNA 実験安全実施要領

- 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
- ・各種安全管理に関する規定および各委員会が学内で設置されている。
 - ・動物実験員会と各種委員会において、委員が兼務することにより連携が図れている。

- 4) 改善の方針、達成予定時期
- ・安全管理に関する各種委員会のさらなる連携強化に努める。
 - ・飼養保管施設、実験室の更なる情報把握に努める。

5. 実験動物の飼養保管の体制

- 1) 評価結果
- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
 - 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
 - 多くの改善すべき問題がある。

- 2) 自己点検の対象とした資料
- ・実験動物飼養保管状況の自己点検票
 - ・動物飼育管理マニュアル

- 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
- ・実験動物飼養施設では、業務委託で実験動物の知識と技術について精通している管理者が管理しており、飼育管理マニュアルに基づき適正に管理を行っている。
 - ・実験動物飼養施設ごとの施設管理者や実験動物管理者を決定し、緊急時の連絡体制等を明確にしている。

- 4) 改善の方針、達成予定時期
- ・委員会による定期的な視察等を行い、飼養保管施設、および実験室の更なる把握に努める。
 - ・学生向けの飼育管理マニュアルについても、整備に努める。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・動物実験計画の審査、実施結果に対する助言、教育訓練、自己点検・評価など基本指針や機関内規程に定められた動物実験委員会活動が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・計画書、報告書の完成度を更に高め、詳細な記述に基づく委員会審議に努める。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験計画一覧 ・動物実験実施結果の集計一覧 ・動物実験に関する自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・動物実験計画については委員会で審査したうえで承認されている。実験終了後は動物実験実施者から提出された計画書に対して、動物実験結果報告書及び自己点検票が漏れなく提出されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・継続の動物実験についても、期限を設定し、更なる適正な実施に繋げる。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・安全管理を要する動物実験計画一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・安全管理を要する動物実験においても、それぞれの委員会の承認を経てから実験を行う等、法律、および学内規程等を遵守して適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・特になし

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・実験動物飼養保管状況の自己点検票 ・動物飼育管理マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・実験動物飼養施設では、業務委託で実験動物の知識と技術について精通している管理者が管理しており、飼育管理マニュアルに基づき適正に管理を行っている。 ・しかしながら、一部の飼養保管施設ではマニュアルの整備や飼養保管記録の保存に不備がみられた。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・委員会による定期的な視察等により、更なる実施状況の把握に努める。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・実験動物飼養保管状況の自己点検票 ・動物飼育管理マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・業務委託による管理者がマニュアルに基づき、適性に整備・管理がなされている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・特になし

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・教育訓練の実施記録 ・教育訓練の内容を示す資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・毎年定期的に、動物実験実施者に対して教育訓練を行っている。 ・学生実習においても動物実験を実施するため、すべての学生が出席するまで補講を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・動物実験実施前に 1 度行わっているが、動物実験に関する最新情報提供の必要性から、適宜実施することも検討する。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 京都産業大学 総合生命科学部 動物実験施設 HP ・ 動物実験に関する自己点検・評価報告書 ・ 外部検証についての検証評価報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 動物実験飼養保管施設ごとに定めた施設管理者や実験動物管理者による自己点検・評価が適性に実施されている。 ・ 規程、計画書審査、飼養保管情報、自己点検・評価報告書等を順次 HP 上に情報公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 情報公開が大学 HP 上から容易にアクセスできるよう検討する。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし

・飼養及び保管の状況

施設の名称	動物種 (主な飼養動物種)	飼養数
14号館	ネコ	6
	マーモセット	3
	ラット	2
15号館	マウス	1844
	ラット	0
	ウサギ	0
	モルモット	4
	ニワトリ	6
16号館	ニワトリまたはマウス	0

(平成30年2月時点)

・29年度 実験計画書の年間の承認件数

46件 (新規4件、継続42件)

・29年度 教育訓練の実績

計130名

[実施月日/人数]

- ① 日時：平成29年4月5日(水) / 15名
- ② 日時：平成29年9月11日(月) / 115名

[実施内容の概略]

- ① 京都産業大学動物実験規程について
- ② 動物愛護に係る規程・基準指針ガイドラン等について
- ③ その他(実験施設の使用心得など)